

福島第一原子力発電所 4号機における原子炉ウェルおよび圧力容器、使用済燃料プールの内部調査の結果について

< 参考資料 >
平成25年8月9日
東京電力株式会社

< 作業目的 >

4号機使用済燃料の取り出しに先立ち実施する使用済燃料プール等の内部にあるガレキ撤去に向け、原子炉ウェル内および原子炉圧力容器内、使用済燃料プール内について、前回調査を補完するため、以下の調査を行う。

【主な調査内容】

- ・原子炉ウェル内および原子炉圧力容器内のガレキ散乱状況・シュラウド取り替え工事関連機器の残置状況の確認。
- ・使用済燃料プール内のガレキ散乱状況の確認。
- ・炉内機器移動ルートの確認。

H24年3/15に 原子炉圧力容器底部のガレキ調査を実施。

H24年3/19～3/21に使用済燃料プール内のガレキ調査を実施。

< 調査実績 >

8/5～8/7：原子炉ウェル内調査 / 原子炉圧力容器内調査

8/8～8/9：使用済燃料プール内調査 / 原子炉ウェル内調査(追加調査)

< 作業実績 >

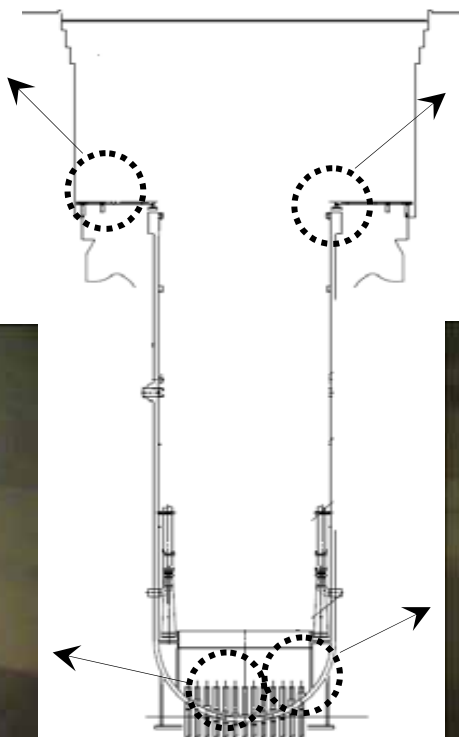
作業体制 約 23人 / 日

被ばく線量 線量:0.19mSv / 日・人 (8/5～8/9 作業期間中の最大)

調査結果 (原子炉ウェル内および原子炉内)



シュラウド取り替え工事関連機器



デッキプレート



原子炉圧力容器底部のガレキ



シュラウド取り替え工事関連機器

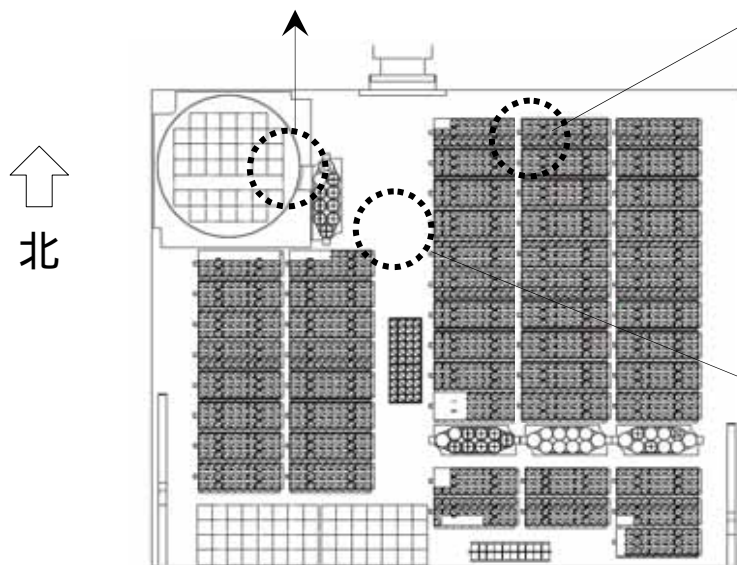
調査結果(使用済燃料プール内)



SFP内 キャスクピット内
(炉内機器移動ルート確認)



SFP内の作業台車梯子(ガレキ)



SFP底部

SFP:使用済燃料プール

調査結果の評価について

今回の調査により、以下の確認ができた。

- ・原子炉ウェル内、原子炉圧力容器内および使用済燃料プール内のガレキ散乱状況については、前回調査から大きな変化はなく、今後の作業に特に問題となるようなことはないことがわかった。
- ・震災前から残置されていたシュラウド取り替え工事関連機器の状況については、今後の作業用機材類の設置に特に問題となるようなことはないことがわかった。
- ・キャスクピット内の炉内機器移動ルートについては、専用治具により通過確認を行った結果、地震による炉内機器仮保管ラックのズレにより、キャスクピットゲート部はそのままでは通過できないことを確認した。
ただし、計画通りに炉内機器仮保管ラックの位置修正を行うことにより移動できることがわかった。

今回の調査結果を、8月下旬から開始予定のSFP内のガレキ撤去作業および炉内機器の移動に反映予定

以上